

日本語句読法研究会、第一回研究会。

ふるってご参加下さい。新しい研究会の出発です。

明治期の国語辞書に使われた約物・記号類 (仮題)

❖講師＝境田稔信

❖日時＝二〇〇八年一月十二日(土) 十五時より 2時間から2時間半を予定しています。

❖場所＝大妻女子大学本館4階 コミュニケーション文化学科2ニ演習室

研究会終了後、懇親会を予定しています。

❖事務局＝ひつじ書房内 yasuko@hituzi.co.jp ホームページ <http://www.hituzi.co.jp/punctuation/index.html>

◎会則

- 本会の名称は、日本語句読法研究会とする。
- 本会は、日本語の句読法について研究することを目的とする。このため、年に数回研究会を開催する。
- 句読法をはじめ、文字符号に付随する空白・空間をも含めた記号性のある符号全体を対象とする。書式の類や、他言語表記との接触により生ずる現象も扱う。
- さまざまな領域の研究者、実務家などをメンバーとし、相互に議論し、知見を共有する。
- 連絡所はひつじ書房の事務所(東京都文京区千石)に置く。
- 発起人 荒尾禎秀 (日本語史、東京学芸大学教授) 境田稔信 (校正者、エディター、タースクール講師) 向井裕一 (グラフィックデザイナー) 松本功 (編集者、株式会社ひつじ書房)